

介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (株式会社フレンズハウス)  
 事業所名 (グループホーム フレンズハウス七番町)  
 サービス種別 (認知症対応型共同生活介護)

適用を受けた補助率		3/4 ・ 1/2	
介護ロボットの種別		介護ロボットの製品名	
コミュニケーション		メンタルコミットロボット パロ	
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年11月20日	1	令和4年11月20日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・日中リビングに設置し、入居者が自由に触れ合うことができる。</li> <li>・不穏な状況の入居者に、ロボットと触れ合うことにより落ち着きを取り戻す。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入居者が名前を呼びながら触れ合い、明るく雰囲気良くなった。普段無口な入居者がロボットに話しかけて笑顔が出るようになった。</li> <li>・不穏な入居者に対して、ロボットと触れ合うことにより落ち着くことができ、職員の身体的負担の軽減につながっている。</li> <li>・アニマルセラピーと同様の効果がみられ、入居者の笑顔が増え、雰囲気が良くなった。</li> </ul>			

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

※これより下は、補助率「3/4」の適用を受けた場合のみ記入すること

① 従前の介護職員等の人員体制	② 導入計画策定時における介護ロボット等の導入後に見込む介護職員等の人員体制
81 : 1	69 : 1
③ 介護ロボット等の導入後の介護職員等の人員体制	
69 : 1	
②と③が異なる場合はその理由	
見守りセンサー、インカム・スマートフォン等のICT機器、介護記録ソフトを活用した人員体制の効率化のために実施した具体的な取組	
入居者18名中4名に見守りセンサー（眠りSCAN）を設置し、夜間の睡眠状態を遠隔リアルタイムでモニタリングしている。夜10時から朝6時までの間モニタリングを実施し、睡眠状態が安定していることを確認して巡視回数が通常の1/3程に減少した。	
利用者のケアの質の向上や、休憩時間の確保等の職員の負担軽減のために実施した具体的な取組	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要以上に訪室することがないため、入居者の安眠につなげることができた。</li> <li>・巡視回数が減ったことにより、職員の業務にゆとりができ、まとまった休憩時間をとることができた。</li> </ul>	
これらの取組による改善状況又は今後改善が期待できること	
安定している入居者に使用することにより、安眠を促すことを目的に使用できているが不安定・不穏な入居者に対して使用することで、異常の早期発見、事故防止につなげることができる。また台数を増やすことで、より職員の負担軽減につながると思われる。	

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (医療法人安形医院)  
 事業所名 (あがた指定通所リハビリテーション事業所)  
 サービス種別 (通所リハビリテーション)

適用を受けた補助率	3/4 ・ 1/2		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り・コミュニケーション	介護ふれあいロボットシステム (HIMBOT)		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和4年2月28日	2セット	令和4年2月28日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 【介護ロボットの使用状況】

コミュニケーションロボットを2体導入し、現在も使用しています。  
 デイケアを利用している高齢者がロボットと直接いろいろな脳トレを行っています。  
 使い方もロボットが説明してくれます。ロボットが脳トレ問題を話し、利用者が回答を選択します。その場でロボットが正解を教えてくれます。  
 さらにロボットが励ましてくれます。利用者は楽しみながら頭を使っている感じです。

## 【介護ロボットの導入効果】

(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)

デイケアの利用者がロボットとふれあうことで、利用者がロボットを意識されています。  
 利用者が自ら操作することで活動につながっているかと思えます。

利用者がひとりでロボットとふれあうことにより、スタッフの介護時間の軽減につながっています。

(注)

- ・導入する介護ロボットごとに作成すること。

## 介護ロボット導入効果報告書(その1)

法人名 (社会福祉法人 愛生館)  
 事業所名 (特別養護老人ホームひまわり安城)  
 サービス種別 (介護老人福祉施設)

適用を受けた補助率	3 / 4 ・ ① / ②		
介護ロボットの種別	介護ロボットの製品名		
見守り・コミュニケーション	コミュニケーションロボット PALRO モデルⅢ		
導入時期	導入台(セット)数	購入日	リースの契約期間
令和3年12月13日	1台	令和3年12月13日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで
<p>【介護ロボットの使用状況】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常に定位置に置き、使用したいユニットが持ち出しレクリエーションの一環として、使用している。</li> <li>・従業員が慣れていないこともあり、円滑に使用できるようにプロジェクトを立ち上げ、使用率を上げるために模索している。</li> </ul>			
<p>【介護ロボットの導入効果】</p> <p>(介護時間の短縮、直接・間接の軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・従業員が行うレクとは違った反応を示して、笑顔や集中が見られる。</li> <li>・他入居者とあまり話をしない方でも、介護ロボットに積極的に声をかけ歌を歌ったりされることも見られる。</li> </ul>			

(注)

・導入する介護ロボットごとに作成すること。